

事務事業評価シート 令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	42300	大原幽学遺跡史跡公園管理費		予算科目	会計	款	項	目	事業種別	☒ 主な事業		
施策体系	基本施策	13	芸術文化の振興・伝統文化の保存		根拠法令	文化財保護法						☐ 国土強靱化地域計画		
	施策の展開	27	文化財の保護		戦略事業	134	大原幽学遺跡史跡公園管理費						☐ 新市建設計画	
	施策の展開	37	公園の維持管理		戦略事業								☒ 定住自立圏構想	
												☐ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 2 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	国指定史跡44,537.27㎡をふくむ総面積60,482.13㎡の公園を管理活用する事業である。恵まれた自然環境と史跡を活用し、文化財の保護と併せ、市民が地域の文化に触れ、また憩いの場となるよう整備する。 維持管理として、臨時職員2名により清掃、草刈、建物の開け閉めなどを行っている。また、業者委託により園内の樹木管理、傾斜地の緑地管理、防災設備の保守、水田の耕作等を行っている。また、必要に応じて指定文化財の修理、整備を行う。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
国指定史跡大原幽学遺跡が昭和56年干潟町に寄贈されたことから、公園として整備がされた。	園内施設の老朽化や取り壊しなど公園としての整備がすすんだ。キャンプ場は平成21年度で廃止。史跡の公有化も行い、水田や住居跡地の活用が課題となっている。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
一般の利用者、特に団体の来園者は公園への進入路が狭く、傾斜地でもあることから、もっと利用しやすくしてはとの声が多い。また、園内の遊歩道が歩きづらい、案内表示がわかりにくいとの声が多い。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)		単位:千円
1.賃金	2,328	臨時職員1名
2.需用費	542	光熱水費、燃料代、消耗品
3.委託料	3,977	緑地管理、防災保守他
4.工事請負費	940	公園改修工事、看板改修工事
5.その他	817	労災保険料、役員費、使用料及び賃借料、備品購入
② 特定財源の内訳(1年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債		
4.その他		

事業費	費目内訳	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
事業費	1.賃金	千円	1,690	1,786	2,187	2,328	2,299
	2.需用費	千円	831	1,962	162	542	178
	3.委託料	千円	9,277	7,548	3,959	3,977	5,643
	4.工事請負費	千円	518		390	940	410
	5.その他	千円	1,064	876	897	817	1,087
事業費計(A)		千円	13,380	12,172	7,595	8,604	9,617
財源	1.国庫支出金	千円	2,576	1,724			
	2.都道府県支出金	千円		800			
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円					
	5.一般財源	千円	10,804	9,648	7,595	8,604	9,617

前年度増減理由 公園内改修工事、看板改修工事を行ったため増

従事職員数 常時 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

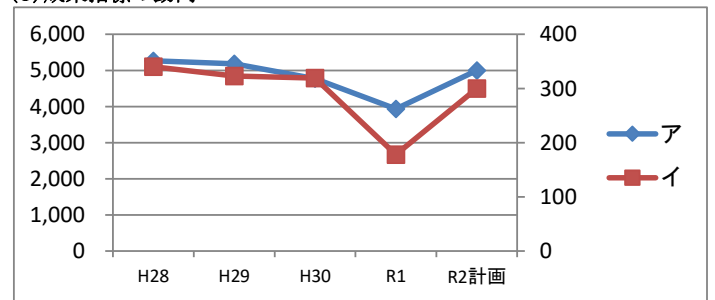
手段	① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動)			ア 開園(記念館開館)日数		日	301	295	305	209	309
	・遺跡史跡公園の維持管理			イ 修繕、工事件数		件	5	4	1	7	4
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		⇒	④ 成果指標名		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (計画)
	対象	地域住民、旭市来訪者		ア 大原幽学記念館の年間入館者数		人	5,266	5,180	4,774	3,934	5,000
	意図	文化財の保護と併せ、憩いの場となるように適切に管理されることで、市民や多くの人が旭市の文化に触れる機会が増える。									
	対象	記念館入館者のうち市内在住者		イ 市内在住の入館者数		人	340	323	319	178	300
	意図	文化財の保護と併せ、憩いの場となるように適切に管理されることで、市民や多くの人が旭市の文化に触れる機会が増える。									

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
			②	
普通				
小さい				

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度	②			
③				
④⑤				
⑥				
⑦⑧				
⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ
成果指標のタイプ	数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下
数値減＝成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	
【コメント】 (低下の場合、その理由)	記念館の空調設備改修工事のため12月から3月が休館だったため。
③ 今年度取組事項 (2年度に取り組む主な事項について記載)	時期 令和2年度中 内容 大原幽学遺跡整備基本計画策定委員会の設置と防災計画の作成。
今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 廃止・休止 ☐ その他()
令和3年度中	大原幽学遺跡整備基本計画書の発行